

私を変えた主人公

ユ・ヘビン

皆様、こんにちは。ヘビンです。私のスピーチのタイトル、「私を変えた主人公」は、著名な作家が書いたベストセラーに登場する人物でも、大きな賞を受けた監督が制作した映画に登場する人物でもありません。この主人公は、私が作った主人公です。

私は小学生の頃から物語を書くのが好きでした。その主人公は、私が経験できなかったことを私に代わって経験することができました。また、書く行為は私の感情を落ち着かせてくれたり、夢を見る気持ちを感じさせてくれました。未来を想像して書いた物語は、実際と同じ部分も、違う部分もありました。私が想像していたものと違っていたらそれは新しい経験になり、私が想像していたものと同じだったら、タイムマシンに乗って未来を見た気分でした。

そうして私は、大学生になり、昔から興味があった日本語を本格的に勉強し始めました。しかし、日本には一度も行ったことがありませんでした。それで、私の韓国の大学である世宗大学に入学した瞬間から、この世宗大学日本交流プログラムに参加することがとても切実な願いでした。しかし、コロナのせいで、日本に来られるかどうか、わからなくなりました。

このような状況がとても悔しかったのでまた、物語を書きました。この主人公は当然ですが、飛行機に乗って日本に行きます。日本で勉強して日本語で話したり、一人で映画館に行ったり、旅行したりします。

この主人公が私に代わって素晴らしい人生を送っていたところ、本当に幸いに、世宗大学日本交流プログラムが再開されました。そして私は、生まれて初めて日本に来ました。今年の4月3日の朝、羽田に着いたというアナウンスを聞いて、涙が出るほど、胸がドキドキしたその感情が今も思い浮かびます。

そしてどうでしょうか。私が書いた物語の主人公のように、私はいつの間にか、日本で6ヶ月以上を過ごしています。日本語で話すことが全然できなかった私が、今もまだまだですが、日本語で話せるようになり、映画館に行って日本語で映画も見ました。また、実際に一人で旅行もしました。

私は文を書きながら、そしてその主人公を見ながら、自分に「夢は叶うだろう」と、唱え続けたようなものでしょう。私の話を聞いた皆さんも願うことがあれば、自分で想像して物語を描いてみてください。皆さんが書いた主人公はきっと、力を貸してくれます。ご清聴ありがとうございました。